

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ高宮支援教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な活動プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 毎週水・木曜日はフットサル、金曜日はダンス、隔週土曜日はキックボクシングを行っている。上記以外には、毎月SST、生活習慣、製作、クッキング等様々な活動プログラムを取り入れている。 季節の行事に合わせた活動プログラムを積極的に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して取り組みを行い、SNS等での活動プログラムの広報を続けていく。 児童や保護者からのニーズを把握し、ニーズに合わせた活動プログラムを今後も積極的に取り入れていく。
2	情報発信を継続していること	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子をインスタグラム、リタリコ、フェイスブック等、様々なメディアにて発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して取り組みを行い、SNS等で発信していることを保護者にも周知していく。 新しく興味を持った保護者が参入しやすい工夫を続ける。
3	保護者を不安にさせない活動の可視化	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時に、一日の様子を伝えている。 年2回個別面談の機会を設けている。その他必要に応じて電話やLINEでの相談等を行っている。 毎日HUGシステムを使った個別の支援記録を記入し、その日の様子を保護者が確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も積極的に保護者と連携を取り、ニーズや困りごとの把握に努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の横のつながりが薄い	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士で関わりを持つ機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 2026年度内の実施に向け、他事業所と連携し、保護者会やペアレントトレーニングの場を設ける準備を行っている。
2	地域との関りが薄い	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事等に参加する機会を作ることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報にも目を向け、地域で行われている行事への参加や、学休日における児童館の利用等、積極的に活動プログラムへ取り入れていく。
3			